

平成29年度

経営内容のお知らせ

ミニディスクロージャー



「愛」ある街のホームドクター



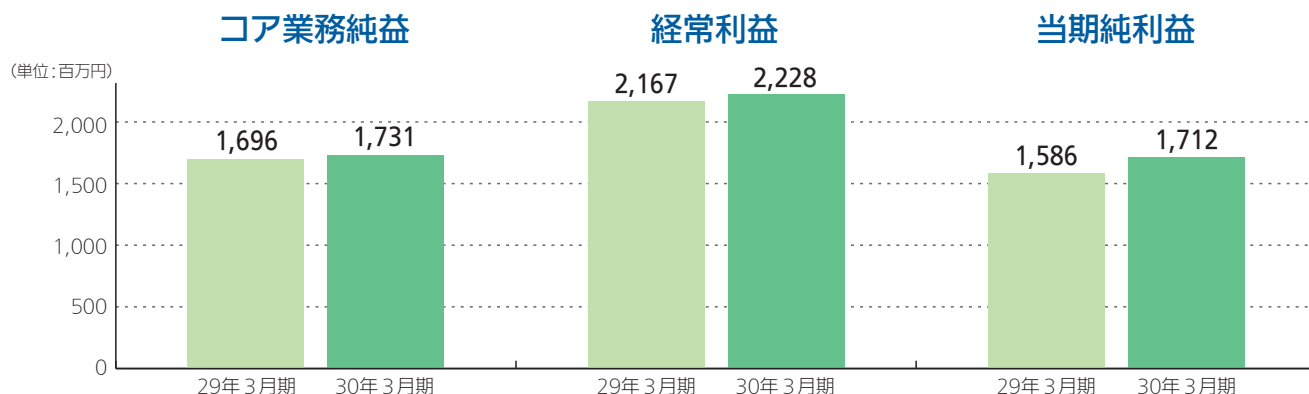


平成29年度 業績の概要

※計数はすべて単体ベースで表示しています。

利益の状況

お客さま本位の活動に努め、地域の多くの方々に当金庫の金融機能・サービスをご利用いただくことができたことから、引き続き安定した利益を計上することができました。



貸出金残高が増加した一方で、長期化する金融緩和策の影響などにより資金運用利回りが低下したことなどから、当金庫の総収入を示す経常収益は減少しましたが、適切なリスク管理や経費の削減、効率的な運用による有価証券利息配当金の確保などに努めたことから、信用金庫本来の事業活動のみの利益を示すコア業務純益は増加しました。

(単位: 百万円)

	29年 3月期	30年 3月期
経 常 収 益	10,304	10,089
業 務 純 益	2,088	2,030
コア業務純益	1,696	1,731
経 常 利 益	2,167	2,228
当 期 純 利 益	1,586	1,712

【用語のご説明】

●業務純益

預金積金利息などの資金調達費用をはじめとする業務費用から金銭の信託運用見合費用を控除した額を、貸出金利息などの資金運用収益をはじめとする業務収益から差し引いて算出するもので、信用金庫の主な業務によって得た純利益を表しています。

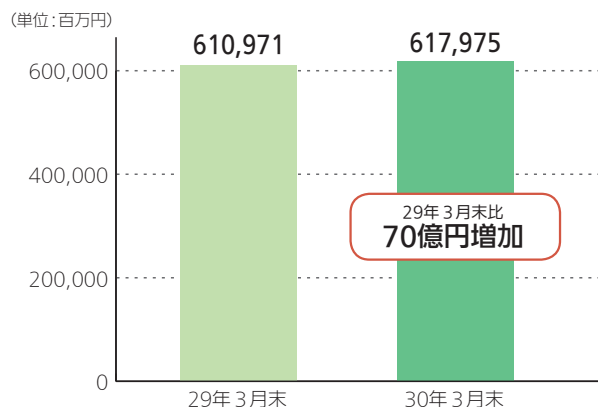
●コア業務純益

業務純益に一般貸倒引当金繰入額を加え、国債等債券5勘定戻 (国債等債券売却益、国債等債券償還益、国債等債券売却損、国債等債券償還損、国債等債券償却) を控除したもので、金融機関本来の事業活動のみの利益を表しています。

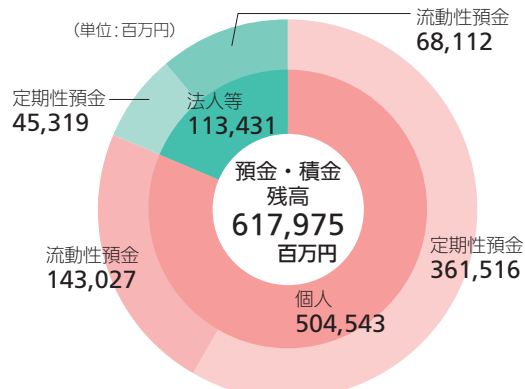
預金の状況

お客さまの資産形成や運用に関するニーズが多様化するなか、お客さまとの日々の対話を大切にし、ライフプランやライフイベント、ニーズや課題に合わせた商品のご提案に努めたことから、3月末残高は前期末比70億円増加し、6,179億円となりました。

預金・積金残高



人格別預金残高構成

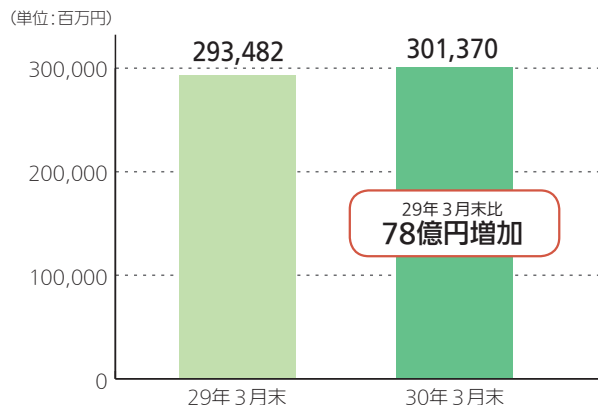


(注) 1. 「個人」には個人事業主を含んでいます。
2. 「法人等」には地方公共団体、金融機関等を含んでいます。

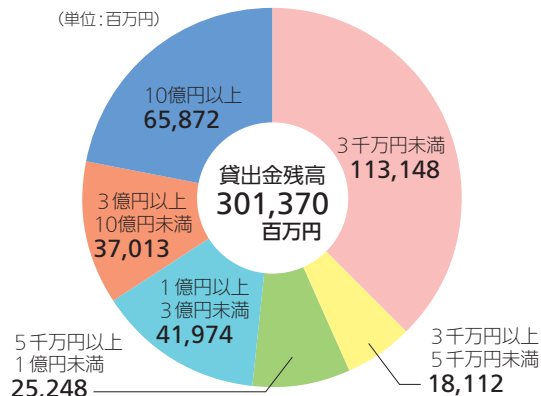
貸出金の状況

日々の訪問活動やコンサルティング活動のなかで、お客さまのニーズの把握や課題の早期発見・解決に努め、適時適切な融資に取り組みました。信用金庫が専門とする中小企業等や個人のお客さまに、当金庫の金融機能を幅広くご利用いただいたことから、3月末残高は前期末比78億円増加し、3,013億円となりました。

貸出金残高

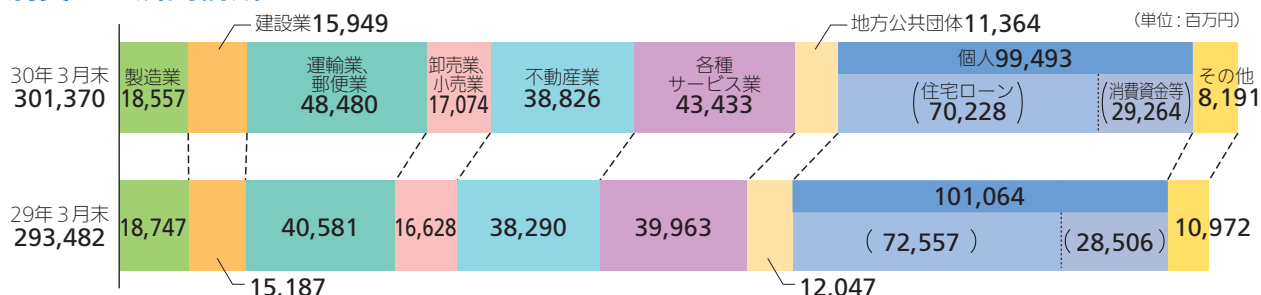


金額階層別貸出金残高構成



地域の皆さまからお預かりした資金は、特定業種や特定先に偏ることなく、地域のさまざまな業種の方々にご利用いただいています。

業種別貸出金残高構成



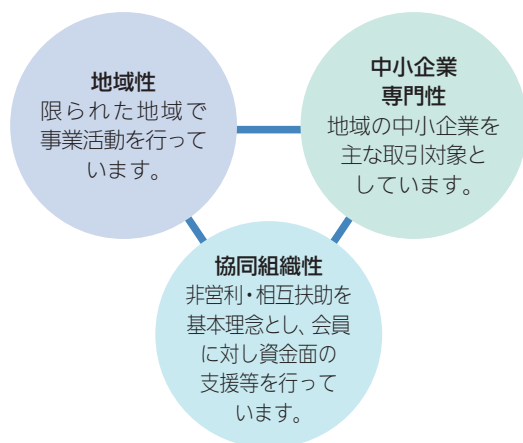
(注) 1. 「各種サービス業」は、「物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「宿泊業」「飲食業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「医療、福祉」「その他のサービス」です。

2. 「その他」は、「農業、林業」「漁業」「鉱業、採石業、砂利採取業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融業、保険業」です。

信用金庫は、地域のお客さまや会員の皆さまが、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営している相互扶助型の金融機関です。

事業地区や会員資格を限定し、地縁・人縁を大切にしながら事業を行っています。

信用金庫の3つの特性



愛媛信用金庫の会員資格

当金庫の事業地区（愛媛県一円、香川県観音寺市・三豊市）に

お住まいの方

お勤めの方

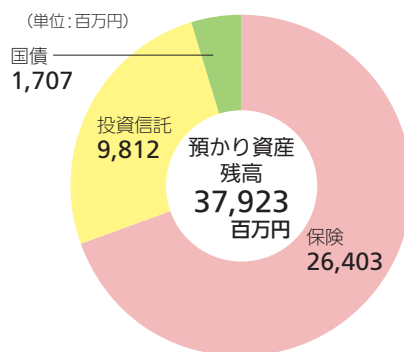
事業所をお持ちの方※

※個人事業者で常時使用する従業員数が300人を超える場合、または、法人事業者で常時使用する従業員数が300人を超え、かつ資本金が9億円を超える場合は、会員になることはできません。

預かり資産の状況

営業店職員と本部のマネーアドバイザー（預かり資産専任職員）が連携しながら定期的にお客さまを訪問し、それぞれの保有資産の状況や運用方針にあわせて、さまざまな情報を分かりやすくお伝えし、ニーズにあわせた商品やサービスをご紹介する活動に努めました。

預かり資産残高構成

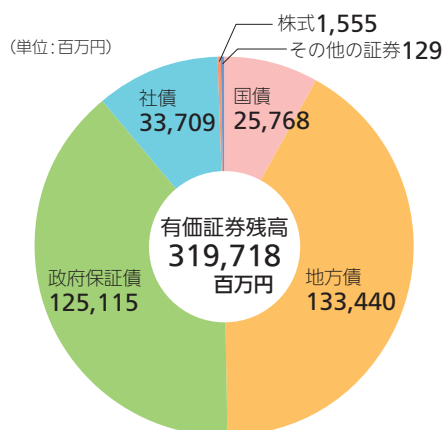


(注) 1. 「投資信託」は、3月末日における市場価格等に基づいています。
2. 「保険」は、「年金保険」「終身保険」「学資保険」です。

有価証券の状況

国債、地方債、政府保証債を中心に、安全性・流動性に留意しながら運用を行っています。

有価証券残高構成



(注)「社債」は、「金融債」及び「事業債」です。

有価証券の時価情報

▼その他有価証券

(単位:百万円)

区分	貸借対照表計上額	取得原価(償却原価)	評価差額
株式	904	465	439
債券	318,033	307,900	10,133
国債	25,768	24,909	858
地方債	133,440	129,339	4,101
社債	158,824	153,651	5,173
その他	111	77	33
合計	319,050	308,443	10,606

(注) 1. 貸借対照表計上額は、3月末日における市場価格等に基づいています。
2. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は含みません。

▼満期保有目的の債券

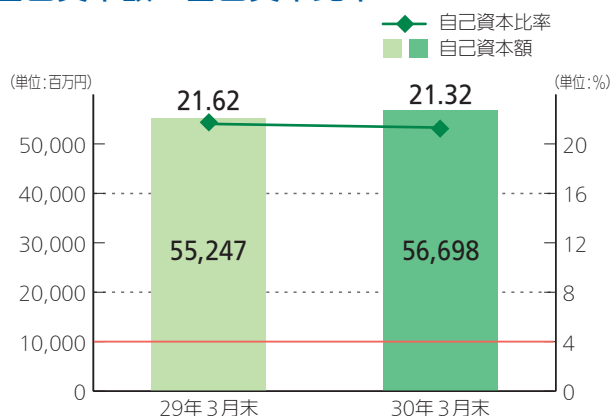
平成30年3月末日において満期保有目的の債券は保有していません。

自己資本の状況

当金庫の自己資本は、会員の皆さまの出資金や、每期安定した利益を計上して積み上げてきた内部留保等によって構成されています。

貸出金残高の増加などに伴い、自己資本比率を算出する際の分母となる「リスク・アセット等」が増加しましたが、安定した利益を計上することができたことから、経営の健全性・安全性を示す自己資本比率は国内基準（4%）を大幅に上回る高い水準を維持しています。

自己資本額・自己資本比率



(単位:百万円)

	29年3月末	30年3月末
自己資本 (A)	55,247	56,698
リスク・アセット等 (B)	255,511	265,842
自己資本比率 (A/B)	21.62%	21.32%

【用語のご説明】

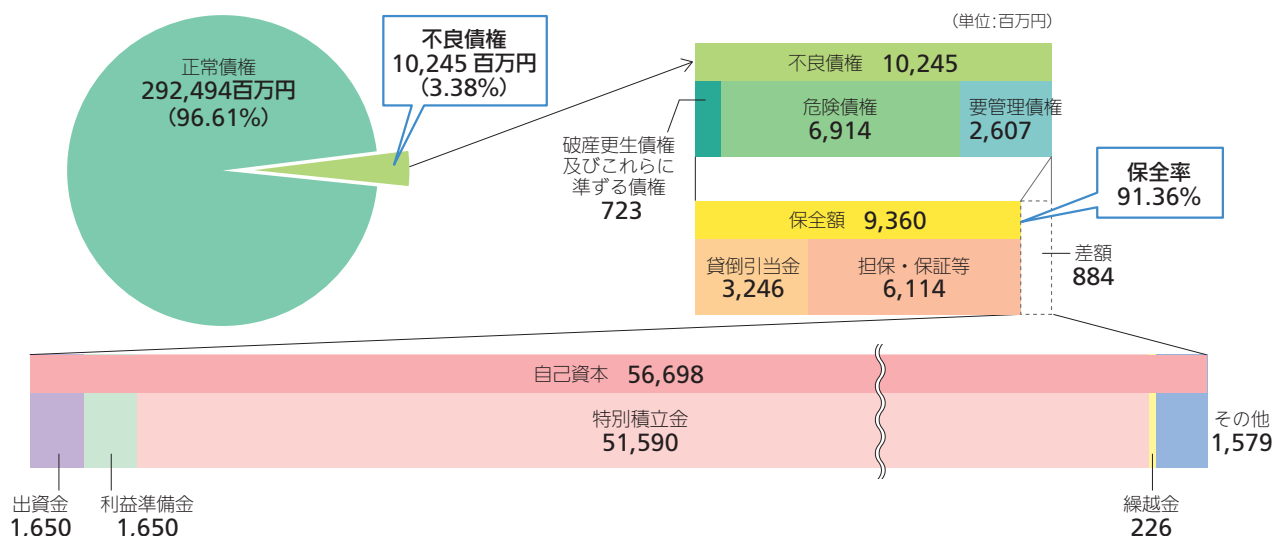
●自己資本比率

リスクに応じて計算された資産（＝リスク・アセット）に対する自己資本の割合を表すもので、金融機関の健全性を示す重要な指標とされています。

金融再生法に基づく開示債権の状況

お客さまの資金繰りの円滑化に努めるとともに、地域事業振興部を中心に本部と営業店が連携し、お客さまの経営改善や経営力の強化に積極的に取り組みました。

当金庫では、厳格な基準のもと償却・引当を行い、不良債権に係る会計上の処理はすべて完了しています。不良債権額と保全額との差額884百万円に対し、当金庫の自己資本の構成の中心となっている内部留保額は53,467百万円であり、経営に与える影響は極めて少なく、健全性を十分に確保しています。



【用語のご説明】

●破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

●危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態・経営成績が悪化し、契約に従った債権元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。

●要管理債権

「3ヵ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。

●正常債権

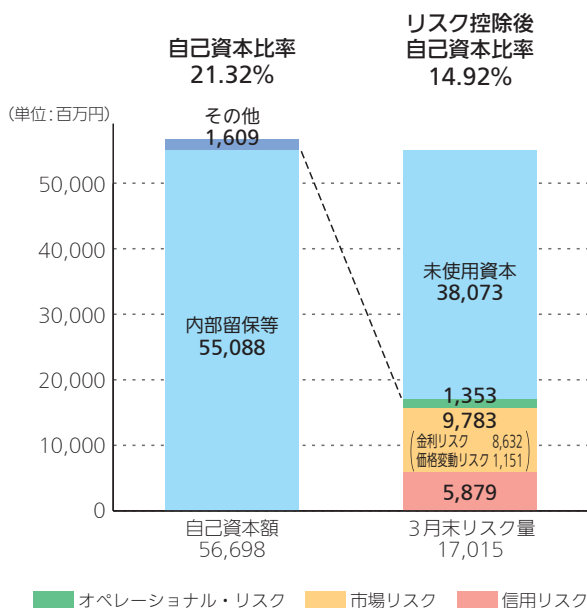
債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」「要管理債権」以外の債権です。

統合的なリスク管理の状況

当金庫では、個々のリスクを一元的に管理し、経営体力（＝自己資本）の範囲内でコントロールすることで、経営の健全化及び収益力の向上に努めています。

3月末におけるリスク量がすべて顕在化したと仮定した場合においても、自己資本比率は14.92%となり、国内基準を大幅に上回る水準を維持することができます。

自己資本に占めるリスク量



【用語のご説明】

●信用リスク

取引先の倒産や財務状況の悪化などにより、当金庫の資産の価値が減少ないし消失し、損失を受けるリスクのことです。

●金利リスク

資産と負債の金利または期間のミスマッチが存在している中で金利が変動することにより、利益が低下し損失を被るリスクのことです。

●価格変動リスク

有価証券の価格の変動に伴って資産価値が減少するリスクのことです。

●オペレーショナル・リスク

業務上における不適切な処理等で生じる事象により損失を受けるリスクのことです。当金庫では、事務リスク、システムリスク、その他のオペレーショナル・リスク（法務リスク、風評リスク、人的リスク、有形資産リスク等）を含む幅広いリスクとして捉えています。



平成29年度 トピックス

平成29年

4月1日・リモートサポートツール導入

法人インターネットバンキングの操作でお困りのことがあった場合、インターネットを通じてパソコンを双方で同時に確認しながら、インターネットバンキングやHP上の操作方法のご案内をいたします。

10日・地元企業のための新入社員合同研修会 開催

13日・第2期女性経営者塾成果発表会 開催

成果発表会では、塾生12名が1年間の講義で学んだ講師・東淵則之教授の経営学“成長ドライバ理論”に基づき、実践事例や社員の意識変化等について発表しました。



17日・特殊詐欺被害防止のためATM振込の一部取引制限を開始

ATMによる「お振込」取引を過去1年以上ご利用になっていない70歳以上のお客さまが、キャッシュカードによるATM振込を行おうとした場合、お振込ができない場合があります。

25日・経営セミナー「売上が伸びる『売り方』はどう変わったのか？」開催

5月11日・第3期女性経営者塾 開講

6月1日・新商品「スーパーフリーローン」取扱い開始

15日・信用金庫の日



各営業店で店舗・周辺等の清掃を行いました。



◀特殊詐欺被害の未然防止を図るため、来店されたお客さまや訪問先に注意喚起のチラシの配布や声掛けを実施しました。

7月

22日・23日・第11回創業セミナー・創業個別相談会 開催

24日・法人IB「ワнтаイムパスワード」取扱い開始

※詳しくは7ページをご参照ください。

27日・知るぽると・キッズ体験学習講座 開催

9月19日・経営セミナー 開催

サイボウズ株式会社 代表取締役社長 青野慶久氏を講師に招き、「チームのことだけ、考えた。～サイボウズが考える未来の会社と社会」と題した無料セミナーを開催しました。



10月19日・第2期経営力向上塾 開講

12月1日・「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」制定（フィデューシャリー・デューティー宣言）

6日・愛媛労働局と「働き方改革に係る包括連携協定」締結

平成30年

- 1月4日・「つみたてNISA」制度開始に伴う専用商品取扱い開始
- 20日・21日・第12回創業セミナー・創業個別相談会 開催
- 24日・経営セミナー「平成30年の経済見通し」開催
- 2月1日・セブンスター六軒家店出張所（店舗外ATM）開設

事業を営むお客さまのお手伝い

お客さまの経営の安定成長に繋げることを目的にさまざまな活動を行っています。

マーケティング支援活動

小売業・卸売業・サービス業の事業者さまを対象に、販売戦略の策定や販路拡大への取組み支援などさまざまなマーケティング支援を行っています。



職場改善支援活動

製造業などの事業者さまを対象に、工場や作業場の生産管理や原価管理の改善支援を行っています。



「愛」ある街のホームドクター活動事例集に詳しい内容を紹介しています。

各取組の具体的な事例や、実際のお客さまの声を掲載しています。詳細については地域事業振興部（TEL：089-946-1121）までお問い合わせください。

2018年版発行は7月末を予定しています。



お客さまに安心してご利用いただくために



強盗事件および特殊詐欺事件への対応力強化のため、各営業店で警察と連携した総合防犯訓練を実施しています。



大規模地震等発生時の対応訓練を実施しています。本部では、全部店の被災状況や全職員の安否等を確認し、対策を検討します。

地域の皆さまとともに（CSR活動）



喜田村地区国分公民館盆踊り



三島高校 インターンシップ

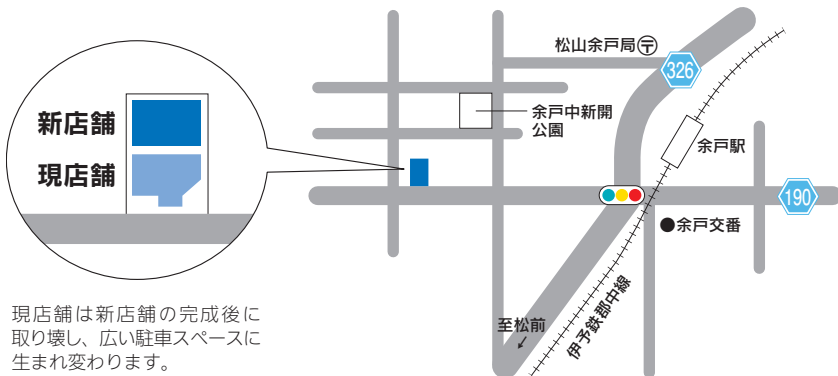


支店花壇で育てたサツマイモを近隣の園児と一緒に収穫しました。

余戸支店リニューアル

新店舗には、広い駐車スペースや店内誘導用の点字ブロック、快適に過ごせるロビーや多目的トイレなどを設置し、皆さまにより便利に安心してご利用いただける店舗を目指します。

リニューアルオープンは、平成30年秋を予定しています。工事期間中はご不便・ご迷惑をおかけしますが、一層のサービス向上に努めてまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

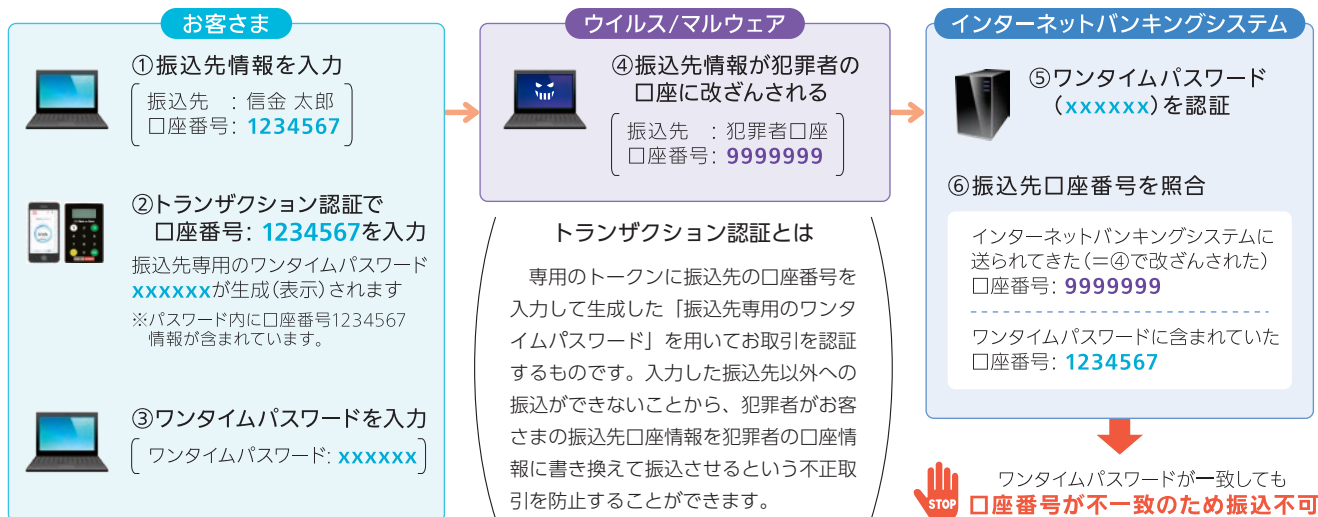


〒790-0045 松山市余戸中5丁目1-7 (完成予想図)
TEL : 089-971-2141

インターネットバンキングのセキュリティ強化

当金庫では、インターネットバンキングでのワンタイムパスワード(利用時に都度変更される一度限りのパスワード)の利用を推奨しています。不正送金被害を防止するため、ワンタイムパスワードをご利用になっていないお客さまの、インターネットバンキングでのお取引を一部制限しています。

法人IB(インターネットバンキング)のワンタイムパスワード

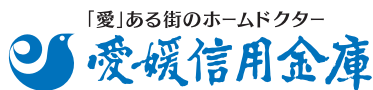


スズラン Lily of the valley

いつもお客さまのことを思い、謙虚な気持ちを忘れない「信用金庫人」としてのコンセンスを表現するために「思いやる愛」「謙虚」の花言葉を持つスズランをモチーフとして使用しています。



詳しくはお近くの営業店へお問い合わせください。



〒790-0002
松山市二番町4丁目2番地11
TEL 089-946-1111(代表)
<http://www.shinkin.co.jp/ehime/>



本資料は、信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第21条に基づくディスクロージャー誌ではありません。詳細につきましては、7月下旬発行予定の「ディスクロージャー 2018」をご覧ください。



本資料は環境にやさしい
植物油インキを使用しています。

見やすい紙面作りのため
ユニバーサルデザインフォントを使用しています。